

## IV 授業リフレクションの実際

### 1 ビデオ視聴をもとにした授業リフレクション

#### (1) 小学校での実践

##### ①最初の指導案

## 第6学年国語科学習指導案

1 単元名 三 相手や目的にあわせて書こう ガイドブックを作ろう

2 本時の目標 自分達で「ところタイム」に恩返しに行くところのガイドブックを作ることに、興味・関心、見通しをもつことができる。

### 3 本時の展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点	時間
1 本時の学習内容について知る。	○ガイドブック作りについての学習		3分
2 「ガイドブック」について知っていることを挙げ、その特徴やよさについて話し合う。	○旅行先や施設の案内 ○説明や写真が載っている。 ○その場所の様子が大体わかる。 ○行きたくなる。	※子どものこれまでの生活経験をできるだけ掘り下げる。	10分
3 教材文の全文を通読し、ガイドブックを作る手順を知る。	○ガイドブックの構想→取材→構成→ガイドブック作りの手順で進められること。	※音読と黙読を組み合わせ、活動に向けて意識を高める。	10分
4 「ところタイム」(総合的な学習の時間)で活動する場所のガイドブックを作る目的について考える。	○所小の他の学年の子どもに知らせる。 ○地域の人にその場所のよさを知ってもらう。 ○自分達もその場所のよさをさらに知ることができる。	※じっくりと考えて、自分が何のためにガイドブックを作るのか、目的意識が高められるようにする。 [評] ガイドブック作成の目的意識がしっかりともてたか。	10分
5 ガイドブック作りの具体的な計画を考える。	○各手順ごとにさらにどのような活動をしていけばよいか考える。 [構想] ・ガイドブックの研究 ・載せる内容を決める。 [取材] ・材料を集める ・材料の整理 ・目次 [構成] ・目次 [作成] ・割り付け ・文章を書く	※ワークシートを使い、活動の手順が明確に意識づけられるようにする。 ※各手順のポイントを押さえ、どのような活動をすればよいか、明らかにする。 [評] ガイドブック作りに向けて具体的な計画を立てることができたか。	10分
6 次時の活動について知る。	○色々なガイドブックを参考にし載せる内容を考える。	※いくつかのガイドブックを参考に、内容を考える。	2分

# KJ 法による授業検討

## ① 気になった子 (個人)

**A** 肘をひいて下を向いている。  
↓  
暑い、気分悪い(体調不良)、興味がない

**I** 下をよく向いている子がいる。  
↓  
一方で音読などはスラスタとしていた。授業内容がこの子にとっては退屈なのかもしれない。

**U** Sさん  
手を挙げるが教師が気付かずアピールする。  
↓  
先生の質問に対し、自分の考えがまとまり、言いたいという希望が強い。

**I** 廊下側3列目  
下敷きを丸めたり、折りたたんだりしている。  
↓  
学習内容に興味を持てず、手たずらをしている。日常的?

**O** 先生の話していることをノートに記録している子がいた。

**K** 5列目4番目赤のTシャツ男子  
肘をつき下を向いていることが多い。

**K** 紺とオレンジ、赤いTシャツの子ども  
教科書を読んでいるときわかっていない。

**K** 窓際後ろから2番目の女子  
下敷きをうちわ代わりにして扇いでいる。  
↓  
学習より暑さが気になり集中できない。

**K** 窓際最後列女子  
本を立て、姿勢を正しくしながら話を聞く。  
↓  
学習規律がきちんと身に付き、学習意欲も高い。

**K** 窓際後ろから3番目女子  
Tの板書を見ながらノートに書く。(他の子どもはマップに夢中)  
↓  
ノートに書くことで学習に参加しようとしている。

## ② 板書

**A** 板書をノートに写していない。  
↓  
今日の学習内容を児童は理解できたのか、頭に入ったのか疑問。今日の学習内容を確認する意味でもノートに写させた方がよい。

**I** 教師が黒板に書いたりを消したりしている。  
↓  
板書計画が不十分

**U** 教師 子どもにも配布したプリントの拡大コピーを掲示する。  
↓  
子ども達に分かりやすく見やすくするための工夫。

**I** 教師が板書をしているとき、子ども達は特に書いていない。

## 指導技術など

### ③ 範読・音読 (マル読み)

**A** T教科書を範読する。C教科書を見ながら静かに聞く。教科書を開く指示に対し、全員が教科書を開く。↓ Tの指示をよく聞く習慣が身に付いている。

**O** 範読をきく姿勢が悪い。マル読みする時の姿勢・発声もよくない。  
↓  
聞く目的、読む目的(めあて)がもてていないのではなかろうか。

**I** 「教科書を開いてください。」すぐ動作をする。  
↓  
授業に参加している。

**K** 机間巡回をしながらTが読んでいる。  
↓  
児童が教科書と向き合っているかを確認するためか。

**K** 「マップは机の上に置くように」指示する。  
↓  
教師の話に集中させるための指導技術

**U** 順番に読むとその方が子どもは緊張している。

**I** Tマル読みした後の評価がない。  
↓  
読みの向上につながらないのでは?

**K** T活動計画の立て方について教科書を見させる。  
↓  
自分の計画を立てるために教科書を確認させ、スムーズに学習を進める。

### ④ 挙手・発言

**A** 女子の発言が全体的に少ない。  
↓  
挙手のみの指名で進めており、「自分が言わなくても・・・」になっている。

**I** 発言する児童が限られている。  
↓  
・他の子は「自分は参加しなくてもよい」と感じている。  
・発問の意図が伝わっていない。

**U** 手をあげるのが反応がよい。  
↓  
よく話を聞いているからだろう。

**E** Tが質問する子ども一人一人に対して丁寧な返答。  
↓  
一人一人の子どもを大切に思っているTの温かな接し方

**I** T「保育園・幼稚園に行く人は？」手を挙げさせ、「どんなことをのせようか？」と質問する。  
↓  
子どもからは出ないため、Tから次々に聞いていく。発言を促す工夫?

**O** 教室が静か(私語がない)  
↓  
自ら発するのが苦手そう。「授業中はしゃべってはいけない」と感じているように見える。発言がすくないのはそのせい?

**K** 挙手して指す子どもが廊下側の子どもが多い。

**E** 児童一人一人への対応

**A** Tが質問する子ども一人一人に対して丁寧な返答。  
↓  
一人一人の子どもを大切に思っているTの温かな接し方

**I** 先生の言葉遣いが丁寧  
↓  
先生なりの児童への敬意?言葉が児童にとってはインフォーマルなものに思えて自由な表現を妨げてしまっているのでは?

### ⑥ 学習の準備

**A** 「国語ですので国語の用意をしてください」

**I** 「国語の用意をしてください」  
↑  
学習規律として事前に準備させたい。

**U** 指示をしないと授業準備ができない子がバラバラいる。  
↓  
習慣がまだできていない。

### 具体例

#### ⑦ 教材の提示

**A** それぞれのガイドブックを数種類配布  
見比べる作業の時間が少ない。

**U** Tマップを見ながらガイドブックの目的を考えるよう指示する。  
↓  
参考になるものを提示し、考えを引き出そうとした。※マップとガイドブックは同じ?

**I** 友達の発言に集中せずマップを見続ける児童が多い。  
↓  
マップのほうに興味・関心がわいているため、友達の話が聞けない。

**I** 楽しみマップを配布した。  
↓  
具体物の例としては、どうなのか?ほかによいものがあるのでは?

## 流れ

**A** ガイドブックって何ですか? ↑ 各個人がガイドブックについてわかっていない。発問が具体的でない。

**I** 導入時の発問に対してなかなか児童の手が挙がらない。  
↓  
ガイドブックについて知らない子が多そう。ガイドブックが何?と聞かれても難しいのかも。

**U** T「ガイドブックを作ろう」というのがあります。  
↓  
「新しい単元」或いは「ガイドブックって知っていますか?」といった時の方がタイムリー?

**I** 先に教科書を見てる子あり  
↓  
意欲的? 答えを用意しておきたい。

**O** T「思いつくか?」  
↓  
全員が具体的に知っていることを前提に話を進めている。

**A** 「ガイドブック」について学習する必要性を自分たちの活動と結びつけて説明している。  
↓  
自分たちと結びつけて考えさせるのはよいと思うが子ども達がそれを理解したかどうかはあまい。

**I** ガイドブックとは何かを聞かれ、教科書をめくる。  
↓  
自分の考えがまとまらず(分からず)教科書から答えを探そうとしている。

**U** T「ガイドブックづくりを役立てないか」と投げかける。Cからの反応はあまりない。「ガイドブックを作ってもらいたい」と話す。  
↓  
子どもの思いよりも教師の願いを主張する。どうしても「ところタイム」とつなげたい。

**I** 「いきなりその場所に行ってもそこがどういふ所か分からない。国語と組み合わせでガイドブックづくりについて学習していきます。」  
↑  
「ところタイム」と国語のつながりがよくわからない。

**A** Tガイドブック(実物)を出すタイミングが遅い。  
↓  
児童の思考を具体的にし、意欲を持たせるには、はじめの段階で出した方が(教師が見せるだけでも) better なのでは?

**I** 作る目的が上がってこない。  
↓  
・対象とする場所がそれぞれ違うので発言しづらい。  
・目的の意味がよくわからない。

**U** 音読→「ガイドブックがなぜあるのか?」  
↓  
音読は十分に活かされたか。教科書を読んだことが次の流れを生み出したようには見えない。

**I** 目的がはっきりしないと作る意味がない。  
↑  
子どもの中にはまだガイドブックへの必要性が出てきていないのでは?

**O** 「目的」という言葉を多用  
↑  
子どもはガイドブックの内容を答えていた。目的意識が低い。

**K** 何を目的にガイドブックを作りますか?←子どもの反応が少なく、作ることに子ども意識が向いていない。

**K** ガイドブックって何のためにあるんだろう←質問の意味が不明

**K** ガイドブック作成計画のプリントを配布したら、子ども達の質問は内容に写った。

**K** 目的と記事(内容)が混同している。  
↓  
児童は何のためにガイドブックを作るのか明確になったのか。個々の作業目的がもてたのかはわからない。

**K** 初めの「ガイドブックって何?」と中盤の「ガイドブックを何を目的に作るか」まで同じような内容の答えが何度も出ている。  
↓  
同じ内容を堂々巡りしているような印象を受ける。

**S** マップを見て「ガイドブックがどうして作られた」を質問し、考えさせている。→あまり発言は出てこない。  
↓  
質問としては難しすぎるのでは?

**S** T「幼・保に行く人手を挙げて?」←課題を自分のこととして考えられてよい。

**S** 誰に、見せますか?  
↓  
「来た人」子どもの中には具体的な誰かを思い浮かべられない。

**S** T「計画表はところのファイルに」←学習内容は国語、扱う内容は総合、児童が混同してしまう。

**T** チャイムがなっても続けている。←子どもの集中力もとぎれる。本時で計画したところまで進めたいというTの思い

### 課題

- ・国語と総合の違いの明確化
- ・国語科における教科書の効果的な使い方

導入

学習活動2

学習活動4

③改善された指導案

※注 「学習活動 2-ウ」等の表記は前出「K」法による授業検討」に記されているものと対応する。

## 第 6 学年国語科学習指導案

- 1 単元名 三 相手や目的にあわせて書こう ガイドブックを作ろう
- 2 本時の目標 「ガイドブック」について知り、ガイドブック作りに興味関心を持つ。
- 3 本時の展開

**学習活動 2-ウ**  
 計画は次時にまわし、本時では、興味関心を持つことを主眼にした。

学習活動	学習活動 2-ア・イ	指導上の留意点	時間
1 本時の学習内容について知る。	ガイドブックについての生活経験を十分に掘り下げ、興味関心を高めようとした。		3分
2 ガイドブックについて知っていることを挙げて、ガイドブックについて関心を持つ。	○ガイドブックを見たことがあるか。 ○ガイドブックをこれまでに使った経験。 ○ガイドブックを使って役に立った経験	※子どものこれまでの生活経験をできるだけ掘り下げる。 ※教師側もいくつかガイドブックを用意しておき、提示したり、回覧したりして、関心を高めるようにする。 【評】 ガイドブックを見たり、使った経験を想起したり、友達の経験を聞くことから、ガイドブックについて関心を持たせたか。	10分
3 教材文の全文を通読し、ガイドブックについて、理解を深める。	○ガイドブックの構想→取材→構成→ガイドブック作りの手順で進められること。	※音読と黙読を組み合わせ、活動に向けて意識を高める。 【評】 音読の際には聞こえるようにはっきりと読めたか。	15分
4 ガイドブックの記事の対象としてどこがあるか考え、発表する。	○教材文の冒頭5行「博物館・美術館などの施設をしようかいしたり、～あなたは、だれにその場所をしようかいしたいですか。」を取り上げ、自分たちの身の回りのどんな場所や人を紹介できるか、考える。  ○次の時間には、ガイドブックを作る目的や、ガイドブック作りの計画を立てることを知る。	※グループで話し合いを行い、多様な考えが出るようにする。 ※なかなか思いつかない場合には、学校生活・地域での生活・家庭生活などの生活場面を上げて、記事にする対象を思い浮かべやすくする。 【評】 ガイドブックに載せて紹介する場所を考えることができたか。	15分
5 次時の活動について知る。			2分

**学習活動 4-ア ⑦教材の提示-エ**  
 具体物を初めに出して意欲を持たせるようにした。

**学習活動 4-オ・カ**  
 ガイドブックの対象について考えるようにすることで、目的意識を持って取り組めるようにした

**学習活動 4-ウ・エ・オ・カ・キ**  
 教科書を読み深めることで、ガイドブック作りの目的や手順をきちんと把握できるように考えた。

(2) 中学校での実践

①最初の指導案

1 学年数学科学習指導案

1 単元名 文字式の計算 (文字式の加法・減法)

(中略)

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ①計算法則をもとにして、文字式の加減法を導くことができる。【見方・考え方】
- ②一次式の加減の計算が効率よくできる。【表現・処理】
- ③項、係数、1次の項、一次式の意味を説明することができる。【知識・理解】

(2) 本時の展開

時間	学 習 活 動	予想される生徒の反応	評 価	指導上の留意点
10分	1 項と係数 $5x - 7$ この式はいくつに分かれているように感じますか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に興味を示している(表情観察)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから学ぶ項について感覚的にとらえることができるような、簡単な内容だということに気づかせる。</li> </ul>
	$3x - 5y - 2$ この式はいくつに分かれているように感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つ</li> <li>・4つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式を見て気づこうとしている(発表、観察)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由は言わずに答えを言う</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような基準で分けたかを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つ</li> <li>・そんな感じがしたから。</li> <li>・うまく言えない。</li> <li>・-や+で分かれている。</li> </ul>	<p><b>項+項+項</b></p> <p>というカードを使い符号を忘れないような意識付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項という新しい名前についてふれる。</li> </ul>
	<p>項：足し算のかたちで表された式一つ一つのこと</p> $5x - 7 = 5x + (-7)$ $3x + 5y - 2 = 3x + 5y + (-2)$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・+( )の省略を忘れてた。</li> <li>・これならできる。</li> <li>・マイナスを忘れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項を見つけようとしている。(観察)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式、単項式ということばを学んでいない現段階では項を左のように伝える。</li> <li>・全てを和のかたちで表せるということを思い出させる。</li> <li>・+( )が省略できることを忘れていた生徒もいるのでもう一度触れる。</li> <li>・項の考え方を定着させる。</li> </ul>
7分	<p>係数：文字をふくむ項の数の部分</p> <p>例 <math>5x</math>の係数 <math>3x</math>の係数 <math>-5y</math>の係数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題の文字をふくむ項の係数を書かせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・係数を見つけようとしている。(観察)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・=の使い方に注意する。</li> <li>・机間支援をする。</li> <li>・係数の考え方を定着させる。</li> <li>・<math>3x^2 + 4y, \frac{1}{x}</math>についても軽く触れる。</li> </ul>

1 8 分	<p>2 式を簡単にする こと</p> <p>1本 <math>x</math> cmのテープを兄は5本、弟は3本持っていました。2人のテープの長さの合計を式に表しましょう。また、2人のテープの長さの差を式に表しましょう。</p> <p>・兄のテープの長さ、弟のテープの長さを文字を使って表す。</p> <p><math>5x + 3x</math> <math>= (5 + 3)x</math> <math>= 8x</math></p> <p><math>5x - 3x</math> <math>= (5 - 3)x</math> <math>= 2x</math></p> <p><math>mx + nx = (m + n)x</math></p>	<p>・興味を持って考えようとしている。(観察)</p> <p>・兄: <math>5x</math>、弟: <math>3x</math> ・兄: <math>x + 5</math>、弟: <math>x + 3</math></p> <p>・文字の式のきまりにしがって表している。(観察)</p> <p>・文字式の足し算の方法を見つけようとする。</p> <p>・文字式の引き算の方法を見つけようとする。</p>	<p>・合計という言葉、差という言葉がそれぞれ足し算、引き算を意味していることを確認する。</p> <p>・<math>x</math> cmのテープが5本で<math>5x</math>であることをもう一度確認する。</p> <p>・図を見て視覚でとらえさせイメージしやすくする。</p>
1 2 分	<p>・例 文字の部分が同じ項をまとめる。</p> <p><math>-3x + 2x = (-3 + 2)x</math> <math>= -x</math> <math>7x - x = (7 - 1)x</math> <math>= 6x</math></p> <p>・教科書 p 58 問2 を解く。</p>	<p>・問題を解こうとする。(観察)</p>	<p>・係数を計算するだけだということに気づかせる。</p> <p>・机間支援をし、理解が遅い生徒の支援をする。</p>
3 分	<p>3 自己評価カードの記入</p>		

### 次のKJ法を活用しての話し合い結果

- ・ビデオを視聴して研究協議を行うと、同じ場面を繰り返して見ることができるために、教師の言葉の癖を知ることができたり、教師の視界以外の授業風景も見ることができるので、広い視野で研究協議を行うことができた。
- ・ビデオを視聴しながら授業をふり返ると、教師の説明で理解しにくいところがいくつか見られた。また、教師が板書の際、ノートを書き始めるのが遅い生徒の様子など、教師の視界に入っていない生徒の行動を見ることができた。
- ・授業後にビデオを視聴しながら授業反省や指導案の再検討を行うと、既習内容の確認をもう少し丁寧に行う必要があると感じた。また、多くの目で授業を見ることで日ごろは気付かない生徒の動きを確認することができた。
- ・この場面で「なぜ、この発問をしたのか」「なぜ、生徒は間違えているのか」等、ひとつひとつの疑問を丁寧に検証していくことで既習内容のどこで、つまづいているのかがわかり、発問の仕方を工夫する手立てとなった。
- ・生徒の反応を見て、生徒は「わかっているだろう」「できるだろう」という教師の思い込みの中で授業をおこなっていることに気付いた。

## KJ法による授業の検討

### 改善のポイント1 「項」の説明

- ①「 $5x-7$ はいくつに分かれていますか」の発問で、「分かっている」の意味がわからない。
- ② $5x-7=5x+(-7)$  足し算の形にする。項の符号を忘れない。
- ③「項」と「係数」の説明は具体例を示して、明確に説明する。

### 手立て

- ①まとめを書いていない生徒に、声かけをして、しっかりやらせようとしている。

### 教具

- ①紙テープの活用 ( $5x+3x$ ,  $5x-3x$ )
- ② $5x$ ,  $3x$ の意味がわからない生徒もいるのではないかと。
- ③「お兄さんから弟のテープを取る」は「お兄さんのテープから弟のテープを取る」(言葉の使い方の正確さ)テープの並べ方を工夫する。
- ④ $\boxed{+}$  $\boxed{+}$  やテープなど準備した自作教材を使用していてわかりやすかった。

### 授業規律

- ①挨拶をしっかりとさせる。指名された生徒の返事がない。

### 全体

- ①学習内容が多い。
- ②授業のペースが速い。
- ③生徒に考えさせ、発表させることを教師が答えを言ってしまった。

### 板書

- ①板書の書き直しが多い。板書させているとき、生徒を見ていない。
- ②板書するときの約束事を確認しておきたい。

### 改善のポイント3

#### 「たすこと・ひくこと」の説明

- ①文字の足し算・引き算を一般化したのが、 $m$ ,  $n$ の定義づけがなされていない。  
 $mx+nx=(m+n)x$   
 $mx-nx=(m-n)x$

### 教師の癖

- ①「めっちゃめっちゃ簡単です。」「これも、そんなに難しくありません。」「～してください。～だぞ。」「～君、～さん」など、言葉の使い方がざらざらである。
- ②教師の声がはっきりしていてわかりやすい。

### 生徒の様子

- ①机に伏せている生徒がいる。授業中の約束事(ノートを取る)が守られていない。

### 生徒

- ①何も指示していない時間がある。
- ②⇒と「-」が重なっていて、後ろの生徒には「-」が見えなかったかもしれない。
- ③ノートをとり始める時間が生徒によってまちまちであった。

### 改善のポイント2 「次数」の説明

- ① $4x+3y-2$ を2次式と書いている生徒がいる。
- ②生徒;「1次の項」教師;そうですね、1次式です。
- ③言い間違いをしている。

### 改善のポイント4 机間支援

- ①理解が遅れている生徒に個別指導を行っていた。集中力を欠いている生徒への声かけを行っていた。
- ②机間支援をして一人一人の生徒に声かけをしている。生徒ができたときにたくさんほめている。

③改善された指導案

**改善のポイント1**  
 項に分けるという作業は、簡単だと思わせるためにイメージで「分かれている」という発問を行った。しかし、この発問では意図が生徒には伝わらないため、項という言葉の意味を説明することにした。また、+で分かれていることを意識させるために最初は加法だけで表された式、次に-を含む式を使用した。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	予想される生徒の反応	指導	留意点
10分	1 項と係数		<p>項：足し算のかたちで表された式一つ一つのこと</p> <p>例1 <math>5x+7,</math> <math>3x+5y+2</math></p> <p>例2 <math>5x-7,</math> <math>3x-5y-2</math></p> <p>・+は項の中に入っているか。</p> <p>・-で分かれているので項はない</p> <p>・+( )の省略を忘れてた。</p> <p><math>5x-7=5x+(-7)</math>  <math>3x-5y-2=3x+(-5y)+(-2)</math></p> <p>・項を見つけようとしている。(観察)</p>	<p>・式を見て気づこうとしている (発表、観察)</p> <p>・項という新しい名前についてふれる。</p> <p>・多項式、単項式ということばを学んでいない現段階では項を左のように伝える。</p> <p>・全てを和のかたちで表せるということを思い出させる。</p> <p>・+( )が省略できることを忘れていた生徒もいるのでもう一度触れる。</p> <p>・項の考え方を定着させる。</p>
	<p>・練習問題を解く</p> <p>(1) <math>2x+4y+5</math>                  (2) <math>3a-2b-3</math>                  (3) <math>-6x+8y-2</math></p> <p>・項を見つけようとしている。(観察)</p>	<p>・+ ( )が省略できることを忘れていた生徒もいるのでもう一度触れる。</p> <p>・項の考え方を定着させる。</p>		
9分	<p>例 <math>5x</math>の係数  <math>3x</math>の係数  <math>-5y</math>の係数</p> <p>・練習問題の文字をふくむ項の係数を書かせる。</p> <p>係数：文字をふくむ項の数の部分</p>	<p>・係数を見つけようとしている。(観察)</p> <p>・一次式について理解する。</p>	<p>・=の使い方に関する。</p> <p>・机間支援をする。</p> <p>・係数の考え方を定着させる。</p> <p>・<math>3x^2+4y, \frac{1}{x}</math>についても軽く触れる。</p>	

**改善のポイント2**  
 $4x+3-2$ を2次式と答えている生徒もいたため時間をかけて説明する。

1 8 分	2 式を簡単にすること		・興味を持って考えようとしている。	・合計という言葉、差という言葉がそれぞれ
	1 本 $x$ cmのテープを兄は5本、弟は3本持っていました。2人のテープの長さの合計を式に表しましょう。また、2人のテープの長さの差を式に表しましょう。	(観察)		足し算、引き算を意味していることを確認する。
	・兄のテープの長さ、弟のテープの長さを文字を使って表す。  $5x + 3x$ $= (5 + 3)x$ $= 8x$	・兄： $5x$ 、弟： $3x$ ・兄： $x + 5$ 、弟： $x + 3$	・文字の式のきまりにしたがって表している。(観察)  ・文字式の足し算の方法を見つけようとする。	・ $x$ cmのテープが5本で $5x$ であることをもう一度確認する。  ・図を見て視覚でとらえさせイメージしやすくする。
	$5x - 3x$ $= (5 - 3)x$ $= 2x$  $mx + nx = (m + n)x$	・文字式の引き算の方法を見つけようとする。	・文字式の引き算の方法を見つけようとする。  <b>改善のポイント3</b> 一般化はしたが $m$ 、 $n$ の定義付けがなされていなかったという指摘があったため。	・差と考えると $3x - 5x$ も考えられるがこの段階ではそれには触れない。  ・以前指導した分配法則の考え方が使えることを思い出させる。  ・加法では $m = 5$ 、 $n = 3$ ・減法では $m = 5$ 、 $n = -3$
1 0 分	・例 文字の部分が同じ項をまとめる。  $-3x + 2x = (-3 + 2)x$ $= -x$ $7x - x = (7 - 1)x$ $= 6x$	・教科書 p 58 問2を解く。	・問題を解こうとする。(観察)	・係数を計算するだけだということに気づかせる。  ・机間支援をし、理解が遅い生徒の支援をする。
3 分	3 自己評価カードの記入		・自分自身の本時の活動をふり返らせ評価させる。	